

予防接種に関する評価・検討組織の あり方等について

H.22 6 16
予防接種部会資料

(社)細菌製剤協会
宇野信吾

ワクチンの生産基盤の確保に向けて

～ワクチン産業界の要望(抜粋)～ [H22.4.21 予防接種部会資料より]

➤ 予防接種に関する恒常的な評価・検討組織の設置

→→米国におけるACIPのような、ワクチンによって予防可能な疾患(VPD)に関する助言や指導、ワクチン接種の回数・間隔・注意点等を定期的に国に提言する組織の設置が望ましい。

➤ ワクチン行政に関わる各部署を調整(統合)する機能の強化整備

→→米国におけるNVPOのような、関係機関、関係部署を統括し、ワクチン開発を含めた国の総合的な予防接種施策の立案、実施に責任を持つ横断的組織の設置が望ましい。

➤ 中期的・長期的な感染症/ワクチンに係る国の政策の明確化

→→ワクチンで予防可能な疾患(VPD)について“どれを何時までにどうする”、“いつまでに定期化する”等の国の政策が明らかになることで、企業において、よりの確な開発判断が期待できる。

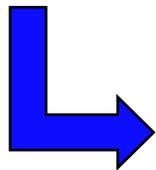
産業界の期待

【評価・検討組織への期待】

- 数年先までの具体的評価検討予定（アジェンダ）の作成公表
- 先を見越した議論の実施
- 関係企業としての意見陳述の機会の確保

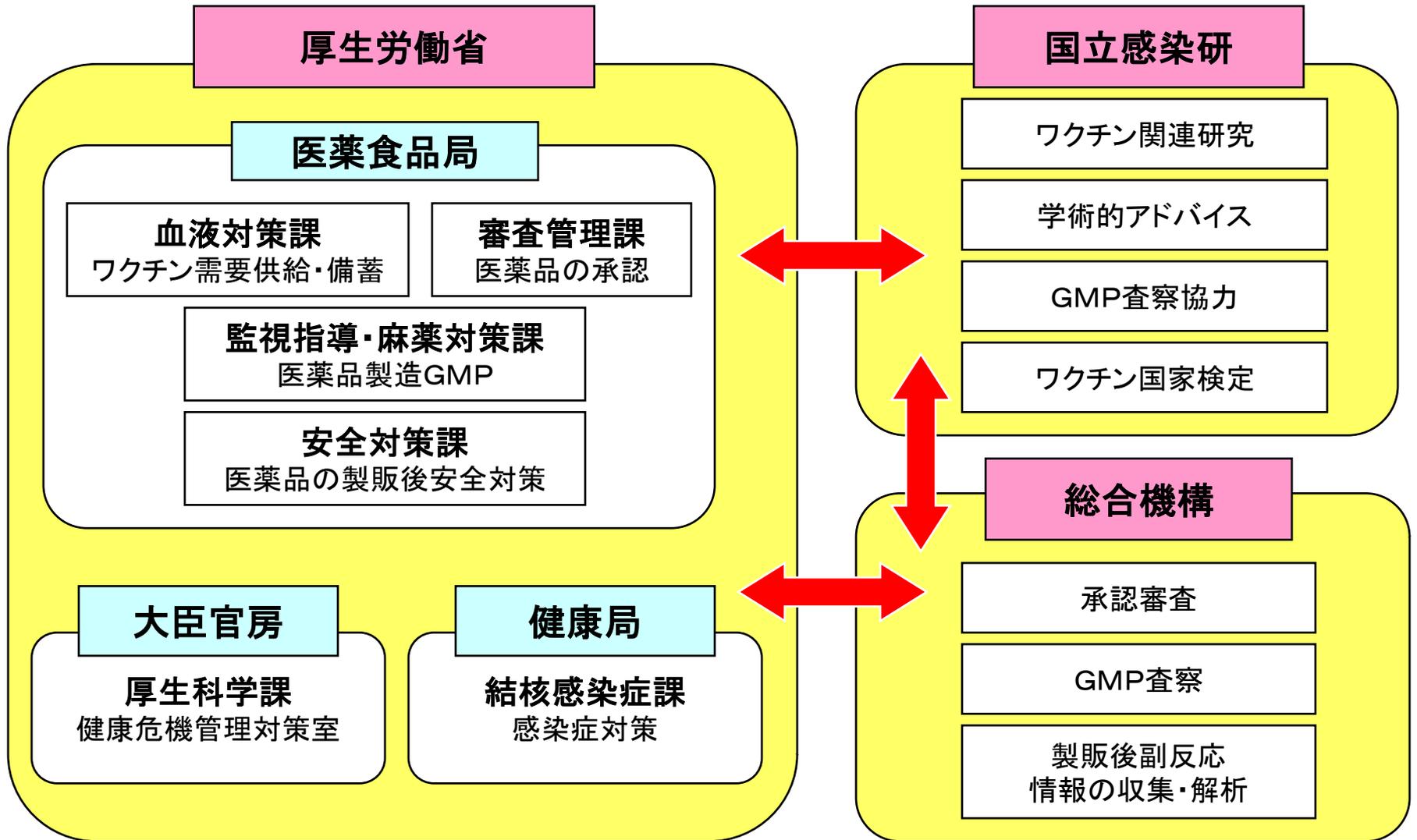
【中長期政策の明確化への期待】

- 国としての予防接種/ワクチンに関する中長期的な政策の策定とともに、当該政策の実行を統括調整する機能の強化。



企業としての開発計画、生産計画等がよりの確に立案できる。

国内の予防接種に関する政府機関等



(平成21年4月HSLレポート 規制動向調査報告書「ワクチンの開発の現状と規制動向」より抜粋)